

オーストリアと南ドイツの旅

2011・7・4～8・3

はじめにー

当初の予定では南ドイツに行く予定はなかった。ホテルの予約も全て終え、出発を10日後に控えた頃、身内の勧めもあり予定を変更したため前半はゆっくり最後の1週間はバタバタとかけ足になってしまったが、白鳥城もローテンブルグも行くことができ、結果には満足している。

ルート



交通手段は：ウィーン 🚆 ザルツブルグ 🚗 ヴォルフガング

ザルツブルグ 🚆 ミュンヘン 🚆 フュッセン

ミュンヘン 🚌 ローテンブルグ 🚆

ニュルンベルグ ✈️ ウィーン

ミュンヘン ^ローテンブルグのバスはヨーロッパバス（観光付き）で、夏休

みで


混むかと思い日本で予約したが、日本人ばかり8名でガラガラだった。（60歳以上割引で一人€33.15）

ニュルンベルグ ウィーンはベルリン航空を日本で予約した。（一人€102）

ウィーン鉄道は一等車両、二等車両の区別があるだけで、座席指定は義務では

ない。長距離移動で混み合う時期は、座席を予約がベター。

ホテルについて

都市	ホテル	価格 他	
ウィーン(14)	Holiday Apartment	846 + 35 (最終清掃費)	
ザルツブルグ(4)	Mercure Salzburg	336 (予約時支払) + 8.8 (Tax) 	
St.ヴォルフガング (3)	Pension Wolfgangsee	234 (内金半額必要) 	
ミュンヘン(3)	Harberstock	297 (予約時支払い) 	×
ローテンブルグ (1)	Rothenburger Hof	80 	
ニュルンベルグ (1)	InterCity	81 (内朝食28) 	
ウィーン(2)	Hotel Furstenhof	170 ザルツブルグ移動前に予約 	

- ・ウィーンでの14泊はキッチン・洗濯機・アイロンありのアパートメントタイプで地下鉄駅にも近く便利だったが、ウィーンはその頃暑く陽が入りエアコン・扇風機なし。
- ・ヴォルフガング湖の家族経営の小さなペンションは、部屋は広く清潔で、タオルは高級ホテル並みの上質なもので心地よかった。食事も美味しい。場所も便利。
- ・最後のウィーン西駅前のホテルは古くて外観はパツとしないが、レトロな雰囲気好きな方にはピッタリで、部屋もバスルーム(バスタブあり)も広く何より便利!
- ・ミュンヘンは中央駅に至近で選んだ。バスルーム(シャワー)が狭く非常に使い勝手悪い。

・アパートメント以外のホテルは全て朝食付で移動に便利なところを優先に、サイトのクチコミを参考にした。

利用したサイトは「[booking.com](https://www.booking.com)」 部屋のサイズなども記されていてよく利用する。

・評価はあくまでも個人的に気に入ったかどうか・・価格に見合ったかどうかです。

ウィーン

・博物館 美術館



いろいろ行ったが、特によかったのは美術史美術館とベルベデーレ美術館で見応えがあった。65才以上はシニア割引があるが、残念ながら数カ月足らず該当せず。

また、「シェーンブルン宮殿」と「王宮の博物館」はコンビニチケットを買って入館した。

・音楽の都



オペラ座・楽友協会（ウィーンフィル）・少年合唱団などすべて夏休み中で本公演はないが、他に様々な催しがあるオペラ座や王宮付近でチラシを配っているの分かる。本公演を鑑賞したい人は、まずチケット確保してから旅行計画を立てる必要がある。



また、気楽に音楽を楽しみたい人には「フィルム・コンサート」がある。7月初めから2ヶ月間毎日！無料！で鑑賞できる。

オペラ・ウィーンフィル・バレエなど・・21:30開演なので遅くなるが、楽しめると思う。

場所は市役所前の広場で、通り側には屋台が出てまさに「祭り」で賑やかなので、音楽を純粹に聞きたい人は前の席を確保すると良い。（椅子にパンフレットやハンカチなど置いておく。）プログラムがあるので好きな演目を選んで鑑賞するとよい。

・食事 カフェなど

ウィーンではキッチン付きなのでカレー・ラーメン・そうめん・ちらし寿司など作り、外食はランチ時にした。郊外に行ったときはちょっと気分を変え奮発した。ランチで気に入ったお店は「YAMMY」ウィーン大学近くのリンク沿いにあるセルフサービスレストランで前菜的な惣菜の種類多く、好きなだけ大皿に取り、レジで計り精算する。人気のある店でランチ時は混み合う。3回行った。

伝統的カフェが多く雰囲気最高！コーヒーは美味しかったが、ザッハトルテに代表されるケーキ類は、私たちには甘すぎる。

お土産にインペリアルホテルのトルテを一人前ずつカットし個包装したものを（4.64ユーロ）を買って帰り喜ばれた。

・ハプスブルグ家のお葬式

7月14日午前 私たちはシュテファン寺院へ地下鉄で向かったが、電車は駅を通過してしまった。何事か？と思い歩いて広場に行くと、ロープが張られ巨大なスクリーンには白黒の古い映像が映されていた。喪服や軍服姿の人も居る。

10分くらいでその場を離れ、町をウロウロし、5時頃アパートに戻りTVをつけた。

シュテファン寺院から「双頭の鷲」の旗を掛けた棺が、数人の男性に担がれ出てきたところだった。アナウンサーはこれから葬列の行進が行われることを告げていた。私たちは昼間のアレがコレだったのだと気づいたが、遅かりし・・・で悔しかった。ところが！列の長さ・ゆっくりの足取り・ルートの長さを知って、二人同時に叫んだ「今から行こう！」カメラを持って飛び出した。

オペラ座付近は交通規制され沿道は行進を待つ人々でいっぱいだった。

ほどなく親衛隊を先頭に現れた。軍服姿・様々な民族衣装・僧服の方々・病院関係者・縁者の方・故人の写真を持った方・柩・ファミリーの方々（現在の当主）と続き、小一時間かかった。

ウィーン滞在も12日目になり、ほぼ観光も終えたところでこの出来事に遭遇し、「ウィーン歴史を辿る旅」の総まとめをした感があった。

帰国後ネットで調べてみると、最後の皇帝カール1世(1916 1918)の皇太子で、オットー・ハプスブルグ公で帝国崩壊時5歳だった。

カプツィーナ納骨所の扉の前では、「お前はだれだ?」「ハプスブルグ・・・」「知らない」「なんとかんとか・・・」「知らない」などの問答をしたあと入所を許された。興味のある方はネットで「ハプスブルグ最後の皇太子」などで検索してみ

てください。



・ウィーン近郊

バーデン ウィーンから20分の温泉街、温泉プールや大きなカジノもある。市内共通券をもっている場合は差額を払えば良いので、窓口で切符を買うと良い。

ハイリンゲンシュタット ウィーンの森



ハイリンゲンシュタットはワインの産地で新酒を飲ませるレストランが多いが夕方から開店のところが多いので、ここからバス(38A)で終点まで行き、ウィーンの森の端っこを散策して、帰りにレストランというのも良い。(我々はお昼開店の店でランチをし、森には行かなかった。)

ハンガリーのショブロン



ショブロンは国境近くで、ウィーンから1時間10分で行ける。

乗車券は窓口で買うと良い。

不思議なのだが？インターネットで事前に調べた値段は片道一人2等で16.4€であったが、実際に支払ったのは2人往復28€だったので

間違いではないかと思ったが、検札の時に何も言われなかった。

バッハウ渓谷クルーズ



列車・メルク修道院・クルーズが一緒になったコンビチケットで行ったが

クルーズの途中デルンシュタインで下船、観光とランチをし、再びクルーズで終点クレムスまで乗ったところ、船着場からクレムス駅は遠く、最後には走ったが間に合わず、1時間駅で待った。

この日はなでしこの準決勝戦がある日でちょっと慌てた。車などで行く場合、クルーズ代金は平日はシニア割引がある。

ザルツブルグ



ウィーンからザルツブルグは2時間40分だが、乗車券のみで**指定席の予約**はしなかったところ、指定席の客が多く慌ててしまったが、皆さんとても親切で自分の席を譲ってくれた。最悪立って行かねばならないところだった。夏休みで混み合っていたが、**ザルツブルグ音楽祭が始** まるとさらに混み合うので**予約必要**。

「ザルツブルグカード」はバス・ほとんどの観光が無料。さらにマリオネットが20%OFFという特典もあり、3日券一人40€を買った。大いに利用し2倍以上の価値はあった。街は観光客が多く賑やかだが、落ち着いた音楽があふれる街で大好きになった。



サウンド・オブ・ミュージックの大ファンである私たちはその世界に浸りたかった。

映画に撮影された場所を歩き、祝祭劇場のホール（最後の音楽コンクールの場）を見たときは感激した。ザルツブルグ音楽祭を控えて準備中のため入口から覗き込んだだけで、写真が撮れなかったのはなんとも残念。

マリオネットでサウンド・オブ・ミュージックと魔笛を見た。歌は実力のある歌手が歌っていて楽しめた。

St. ヴォルフガング

ザルツブルグ駅前のレンタカーハーツで3日間ボルボ（これしかなかった）を借りた。

駅前の店は空港に比べて台数が少なく予約に手間取るので、前日までに予約が良い。ナビゲーションはオプションで日本のものに比べて見にくいので慣れるのに時間が掛かったが、これがないと困る。**費用は3日間保険・ナビ込で385€**

ここからハルシュタットやゴーザウへ行ったが、とても景色が綺麗で何処を撮っても絵になる。

ハイキングをしたかったが、毎日雨で出来なかった。



南ドイツ ロマンチック街道

ザルツブルグからミュンヘンに移動3泊し、一日は「ノイシュバン
シ ユタイン城」観光に当て、残りはミュンヘンの主に旧市街観光と
美術館鑑賞をした。城はまさに絵になる姿で美しいが、人気があり混み合う。
チケットを買っても入城できる時間は3時間後位になるので、フュッセ
ン町の見どころを見たあと、チケット売り場に行くのも良いかもしれない。



とにかく丸々一日費やした。

ミュンヘンからヨーロッパバスでロマンチック街道の観光をしながら、
ローテンブルグで降り一泊した。ロマンチック街道は車で寄り道しな
がら走りたかったが、日程に余裕がなかった。

ローテンブルグはバスで通過する場合30分位しか下車時間がない
ので、宿泊してよかった。中世の雰囲気になり、市庁舎の塔への階段
では、

ニュルンベルグは空港があり、ウィーンに移動のために一泊したが、とても魅力的な
町だった、時間がゆるせばもう一泊したかった。

経費について（二人分）

・航空券（エミレーツ）	256000	（荷物30キロOK）
・ホテル	235000	
・食費	130000	
・交通費	122000	（レンタカー44000、ベルリン航空23000含む）
・観光費	88000	（溪谷クルーズ、マリオネット、美術館など）
・雑費	10000	
合計	<u>841,000円</u>	（1ユーロ=114円）

あとがきー

ウィーンは涼しいかと思っただが、結構暑く28度位あった。またザルツブルグは10度くらいと寒い日もあり、衣類は夏物から冬物まで必要だった。

列車は時間が正確でスーッと無音で出発する。ホームからの乗り込みもイタリアほど大変ではなかった。また、オーストリア・ドイツとも治安良く、人々が大変親切で、積極的に助けてくれる。非常に真面目な人間性を感じた。

坂田早苗

記